

令和6年度

# 文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

## 愛知県安城市

自治体名：愛知県安城市

担当課名：文化振興課

電話番号：0566-77-6853

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	総面積86.05 km <sup>2</sup>
人口	187,665 人
公立中学校数	8 校
公立中学校生徒数	5,504 人
部活動数	39 部活 (文化部活動)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

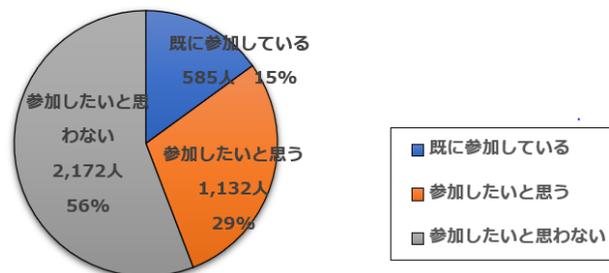
現在、本市では8中学校で39の文化部活動が活動している。市内全校にある吹奏楽部を除き、多くの文化部活動は、運動部活動のような地域予選や全国大会等がなく、学校ごとに取り組む種類や内容も異なっている。このように多岐にわたる部活動を専門性や本人の意思に関わらず教師が顧問を務める現在の指導体制は、継続することが難しいと考え、国の提言を基に、令和5年10月から休日部活動の地域移行への取組をスタートさせた。

取組開始に際し実施した生徒向けアンケートからは、土日は休みたい、もっと活動をしたい、部

活動とは違う種目をやってみたいなど、子どもたちが様々な思いを持っていることがわかった。そこで、子どもたちが主体的に選択して文化活動に取り組むことができるよう、子どもの目線に立った活動を第一に進めると同時に、教職員の働き方改革の推進を目標として地域移行を進めることとした。

今後は、楽器の確保や保管場所、活動場所や指導者の確保といった活動環境の整備に努めるとともに、長年にわたって定着した、部活動は学校教育の一環で運営するものという子ども、保護者、地域など関係者の意識を改革する働きかけも同時に進めていかなければならない。

●Q1 休日部活動の縮小により、部活動を行わない土日に地域でのスポーツ・文化活動に参加したいですか。



※地域でのスポーツ・文化活動：「安城市内で活動している地域スポーツ団体」「市が主催する中学生日曜教室」「市内の公民館で開催されている講座」等

●Q2-1 地域でのスポーツ・文化活動に望むことは何ですか。(複数回答可)

※Q1で「既に参加している」「参加したいと思う」と回答した方のみ対象



出典：「休日文化活動の段階的な地域移行に伴うアンケート」より

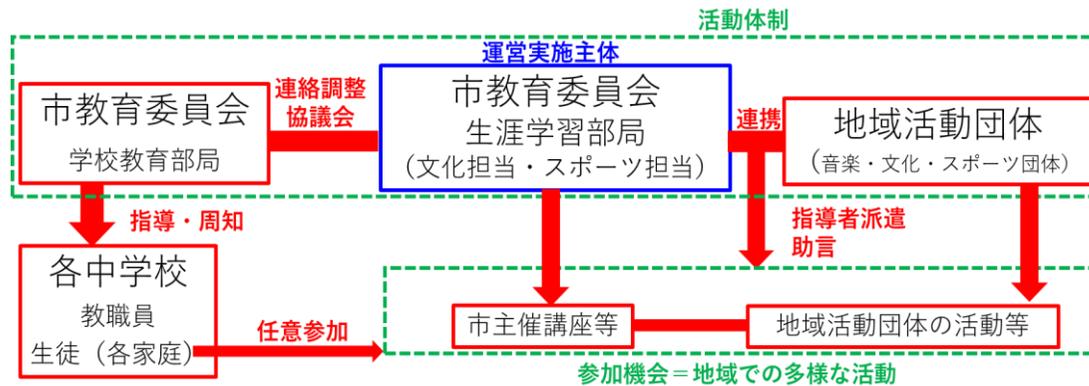
●実施期間：令和5年9月6日(水)～9月21日(木)

●回答者数：3,889人(市内中学生5,661人 回答率約69%)

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・学校教育課・・・学校との調整・連携、学校に関する事項について
- ・生涯学習課・・・中学生の地域運動活動の環境整備（音楽・美術以外の個人活動対象）
- ・文化振興課・・・ // （音楽・美術）

##### ◎首長部局

- ・財政課・・・予算措置

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回協議会の開催
令和6年6月	第2回協議会の開催
〃	中学生美術講座(前期)実施
令和6年7～11月	中學生日曜教室(音楽・前期)実施
令和6年9月	中學生日曜教室(美術鑑賞・制作)実施
令和6年10月	第3回協議会の開催
〃	中學生日曜教室(公民館アウトリーチ)実施
令和6年12月	協議会(文化部会)の開催
〃	中学生美術講座(後期)実施
令和6年12月 ～令和7年2月	中學生日曜教室(音楽・後期)実施

## 2.実証内容と成果

### 地域文化クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	8校	実施した地域クラブ総数	10クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		10クラブ
全体の指導者数	12人	全体の運営スタッフ数	8人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
中學生日曜教室(サックス)	市	サックス(新)	月1回程度×3回×2期（全6回）	午前	前期8人(2年8人) 後期8人(1年2人、2年6人)	令和6年7月～令和7年1月	安城市民ギャラリー	1人	2人 （内、兼務2人）	1,300円/期	なし
中學生日曜教室(トランペット)	市	トランペット(新)	月1回程度×3回×2期（全6回）	午後	前期7人(1年3人、2年3人、3年1人)、後期5人(1年3人、2年2人)	令和6年7月～令和7年1月	昭林公民館	1人	2人 （内、兼務2人）	1,300円/期	なし
中學生日曜教室(クラリネット)	市	クラリネット(新)	月1回程度×3回×2期（全6回）	午前	前期8人(1年1人、2年5人、3年2人)、後期6人(1年3人、2年3人)	令和6年7月～令和7年2月	安城市民ギャラリー	1人	2人 （内、兼務2人）	1,300円/期	なし

## 2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

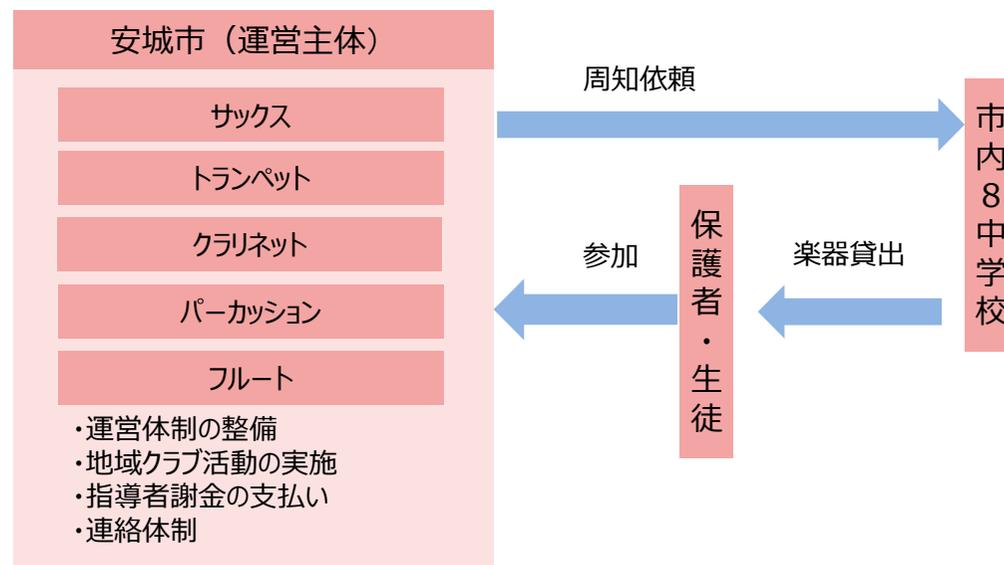
クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に(新)を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
中学生日曜教室(パーカッション)	市	パーカッション(新)	月1回程度×3回×2期(全6回)	午後	前期5人 (1年1人、2年3人、3年1人) 後期6人(1年3人、2年3人)	令和6年7月～7年2月	昭林公民館	1人	4人(内、兼務4人)	1,300円/期	なし
中学生日曜教室(フルート)	市	フルート(新)	月1回程度×3回×2期(全6回)	午前	前期2人 (1年1人、2年1人) 後期4人(1年4人)	令和6年7月～令和7年2月	安城市民ギャラリー	1人	2人(内、兼務2人)	1,300円/期	なし
中学生美術講座(水性絵具で静物画を描く、木炭で静物画デッサン)	市	美術(新)	週1回×4回×2期(全8回)	10:00～12:00	前期10人、後期7人	令和6年5月～6月、12月	安城市民ギャラリー	1人	2人(内、兼務2人)	1,400円/期	なし
中学生日曜教室(公民館アウトリーチ)	市	マリンバ(新)	1回	14:00～14:50	マリンバ7人(1年3人、2年3人、3年1人)	令和6年10月	明祥公民館	2人	4人(内、兼務4人)	100円	なし
中学生日曜教室(公民館アウトリーチ)	市	箏曲(新)	1回	14:00～15:00	箏曲2人(2年2人)	令和6年10月	安祥公民館	4人	4人(内、兼務4人)	100円	なし
中学生日曜教室(公民館アウトリーチ)	市	和太鼓(新)	1回	14:00～15:00	和太鼓11人	令和6年10月	北部公民館	6人	4人(内、兼務4人)	100円	なし
中学生美術講座(鑑賞から始める制作のヒント)	市	美術(新)	週1回×2回	14:00～16:00	7人	令和6年9月～10月	安城市民ギャラリー	1人	2人(内、兼務2人)	500円	なし

## 主な取組例

### ●中学生日曜教室（音楽） 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サクソ、トランペット、クラリネット、パーカッション、フルート
運営団体名	市
期間と日数	各楽器6回/年（月1～2回程度）
指導者の主な属性	音楽団体所属指導者
活動場所	安城市民ギャラリー、昭林公民館
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	各楽器2,600円
1人あたりの保険料	個人負担なし（安城市ふれあい補償制度）

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者  
役割：活動における管理者として、指導者、保護者（受講生）との連携を行う
- 指導者 1名  
役割：活動における楽器指導を行う
- 運営補助者 2～4名  
役割：大型楽器運搬、受講者募集、受講費徴収、出欠確認等庶務事務を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○行政が学校・地域音楽・文化活動団体の各関係者との連絡調整・指導助言等の協力を得て、子どもたちの自主的な文化活動の受け皿となりうる事業を計画し、実施する。

○運営主体である行政が関係団体・保護者（生徒）との連絡調整を行い、参加者管理、会費徴収、参加者・指導者への連絡、会場の確保・調整、大型楽器運搬、会計業務等庶務事務を行う。

##### 取組の成果

○以下4つの取組を行うことで、子どもたちの自主的な文化活動の機会を創出することができた。

- ・中学校施設開放優先利用（中学生が自主的に活動できる場所を優先的に提供する仕組み）
- ・中学生が参加可能な音楽・文化活動団体紹介
- ・中学生対象音楽・美術、生涯学習講座開講 ※実技指導メイン
- ・中学生対象公民館アウトリーチ開講※鑑賞メインの体験活動

○運営主体である行政担当者が関係団体・指導者・保護者（生徒）との連絡調整を行い、活動にも立ち会うことで、生徒・指導者間のトラブルなく、クラブ活動を円滑に行うことができた。

##### 今後の課題と対応方針

持続可能な事業の実施のため、コーディネート業務を担う人材を育成し、資質向上を図るための方策の検討を行うと同時に、将来的に実施主体となりうる団体の育成・支援を行う必要がある。そのために公的支援の対象とする地域クラブの要件や基準等を調整して設定し、登録・指定等を実施する必要があると考える。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

・令和5年10月に指導者を教職員に限る指導者登録バンクを設置し、継続して年2回登録依頼を行い、指導者の確保に努める  
 ・行政が運営主体である講座・教室等の指導者は、専門性が高くかつ教職員以外でも中学生指導実績のある指導者確保に努める

##### 人材バンクの人数

21名

##### 人材バンクの年齢構成

20代～60代以上  
 (年代内訳不明)

##### 登録者属性

小学校教員 8名  
 中学校教員 12名

##### 種目

陸上競技  
 バレーボール  
 柔道  
 新体操  
 バスケットボール  
 空手  
 剣道

##### 資格有無

教員免許  
  
 (人材バンク以外は)  
 日本美術家連盟所属  
 安城音楽協会所属など

##### 取組の成果

・教職員向けに指導者登録依頼をした結果、指導者20名を確保した。(※10月15日現在)  
 ・文化活動に関する指導者の登録が集まらないため、地域文化活動団体(安城音楽協会、安城文化協会)所属アーティスト、長年実技指導に携わる洋画家(市職員)など複数の指導者に協力依頼することで、技術面のみならず中学生指導の実績がある指導者に指導依頼することができた。又、地元アーティストを活用し、指導者としての役割を担ってもらうことができた。  
 ・古典やクラシック音楽などの学校アウトリーチで中学生向け公演及び演奏体験活動の実績がある複数の地元アーティストに協力依頼することで、部活動地域移行としての楽器指導だけでなく、幅広い音楽に触れる機会を提供することができた。

##### 今後の課題と対応方針

○指導者の多くが教員免許を取得しており、中学生指導経験があったこと、加えて運営主体である行政職員が全クラブ活動に立ち会ったが、安定的にクラブ活動を継続させていくためには、指導者の質の担保が必要と考える。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

○学校と連携して進めていくため、中学校校長会や中学校入学説明会において、本市の取組及び今後の見通し等の説明を実施。

○関係機関に本市の取組及び今後の見通しについて説明し、指導者派遣や中学生の参加受入れについて、協力を依頼した。

##### 取組の成果

○中学校校長会や中学校入学説明会にて、学校や保護者の協力を求めることで、市内中学校のすべての生徒に事前周知や募集チラシの配布を行うなど、活動の周知をする機会を得た。

○中学校校長会に協力を求め、部活動で使用している学校管理の楽器を本実証事業に参加する生徒が希望する場合は借用できるようになったことで、子どもたちの参加の機会が広がった。

○芸術文化分野を所管する行政が地域活動団体と随時意見交換を実施するなどの連携を通して、中学生の参加受入れに協力を得られた結果、各地域活動団体の活動へ参加する等、子供たちの自主的な文化活動の多様な体験機会を確保することができた。

(参考) 中学生が参加できる地域の音楽団体 5団体

〃 文化活動団体 7団体

※いずれも令和7年1月末現在数値

○会場の施設、会場や参加者の出欠確認などを行う庶務事務はすべて運営主体である行政が行い、年間30回あるクラブ活動の講師コーディネート業務は地域活動団体に担ってもらうなど、行政と地域活動団体とが連携して、指導者が指導に専念できる環境づくりをすすめた。

##### 今後の課題と対応方針

○子どもたちの多様な活動を支援するには、多様な分野で受け皿を用意する必要があるため、更なる分野の団体に参画してもらえよう、既存団体との連携強化を進めるほか、新たな分野の団体発掘を進めていく方法を検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 対象者を「公立・私立問わず、市内在住の中学生」とすることで、市内全中学生を対象にする。
- 中学校施設開放優先利用（中学生を含む地域活動団体が活動できる場所を優先的に提供する仕組み）を市内全中学校で実施する。
- 各種講座を中学校体育館や各中学校区に設置された公民館等市内一円で開催することで、市内中学生が活動しやすい環境づくりを目指す。

##### 取組の成果

- 休日の文化活動の場として中学生日曜教室（音楽・美術）に103人の中学生が参加し、希望する市内全中学校の生徒が参加することができた。
- 各中学校区に設置された公民館が開催する公民館講座で、すべての館が中学生を対象に含む講座を開設し、活動機会及び活動場所の創出に努めた。

##### 今後の課題と対応方針

- 休日部活動の完全廃止に向けて、令和8年までに活動できる場所を段階的に増やし、希望する市内全中学生が地域で文化活動に参加できるような環境づくりに努める。
- 平日の部活動との連携が課題。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

○行政・地域・学校が連携することで、既存部活動の枠組みに捉われない幅広い分野で、子どもたちが自分の興味があるものに、いつでも、いつからでも始められる仕組みづくりを行った。

○中学生の参加が可能な地域音楽・文化活動団体を紹介した。

○中学生を対象とする音楽・美術講座（中学生日曜教室）を継続的に実施 ※実技指導メイン

○中学生を対象とする公民館アウトリーチを実施 ※音楽・芸術鑑賞メインの体験活動

○音楽・美術以外にも中学生が参加可能な単発の生涯学習講座を実施

##### 活動の詳細

参加人数	103 人	指導者数	19 人
属性	市内中学生（公立・私立問わず）		
具体的な内容	<p>【音楽】楽器の持ち方、姿勢、奏法、運指などの基礎から、曲の表現方法までプロアーティストから学び、音楽の知識・経験を深める。また同年代の仲間と演奏を通して学びあい、音楽の楽しさを体感する。</p> <p>【公民館アウトリーチ】学校ではなかなか体験することのできないプロアーティストの演奏を間近に鑑賞しながら、楽器解説や演奏体験を通して、音楽の楽しさを体感する。</p> <p>【美術】絵画表現の基礎であるデッサンを身につけ、画材の違いを工夫しながら、オリジナルの表現へと結びつけ、表現することの楽しさを味わう。</p>		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校で学べないような専門的なことを学ぶことができてよかった</li> <li>● 指導が充実していて自分の苦手、悩みを少し改善できたからよかった</li> <li>● 知らなかった運指とかスケールの練習方法を知れてよかった</li> <li>● 後輩にも伝えられる内容で本当によかった</li> <li>● アンサンブルでの質問が聞けたりなど大会に向けたアドバイスをもらえたことがとてもよかった</li> <li>● 周りにいろいろな人がいたので、友達になり、楽しく描くことができました</li> <li>● 絵のデッサンで、遠近の感覚をまなぶことができ、またみんながどのように描くのかを知ることができた。楽しかったし、自分がどれくらいのレベルなのかも知ることができた</li> </ul>		
運営経費	指導者謝金：9,000円/半日 他、会場借上料、消耗品費など		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

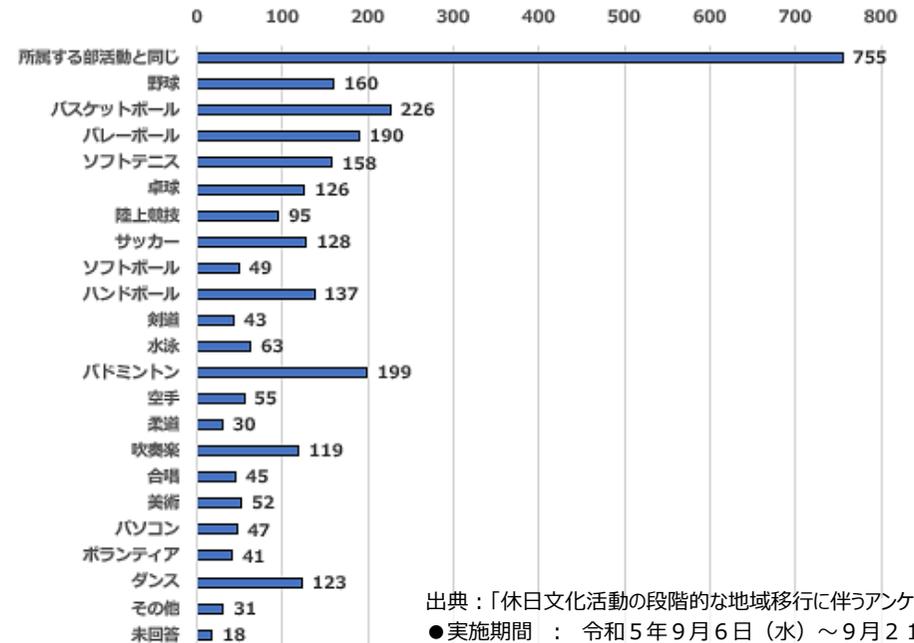
##### 取組の成果

本事業に参加した中学生全103人に実施したアンケートでは、回答者のすべてが参加してよかったと回答しており、多くの中学生が意欲的に取り組んでいたことが確認できた。参加者個々の意見を総括すると、各分野の専門家から直接指導を受けられる機会であったこと、自分の課題が発見でき、かつそれに対する指導を受けられたことなどが満足度が高かった要因であると考えられる。

また、参加者の中には、普段運動部に入っているが、美術に興味があり、今回美術講座に参加したという子もいたことから、子どもたち自らが興味のあるものを選択して取り組むという、安城市が目指すこどもの目線に立った取組が受け入れられていることがわかった。

●Q2-3 地域でスポーツ・文化活動を行う場合に「参加してみたい」と思う種目は何ですか。  
 (複数回答可)

※Q1で「既に参加している」「参加したいと思う」と回答した方のみ対象



出典：「休日文化活動の段階的な地域移行に伴うアンケート」より

●実施期間：令和5年9月6日(水)～9月21日(木)

●回答者数：3,889人(市内中学生5,661人 回答率約69%)

※「その他」の主な種目：硬式テニス4人、弓道4人、体操3人 等

##### 今後の課題と対応方針

公民館アウトリーチでは中学生以外の年代からも参加の問合せがあったことなどから、保護者や生徒と一緒に文化芸術を楽しむ機会や運営に携わるなど、地域の幅広い世代の人が関わりながら文化活動を行う取り組みへと発展できるとよい。

→本事業で文化活動を体験した子どもたち自らが大人と共に企画・運営

に参画し、活動発表をすることで、自己実現や達成感を味わってもらい、また新たな世代の活動のきっかけづくりを行う取り組みを検討していく。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

- ・市主催講座では、市が会場費・指導料等の事業経費を負担することで、参加費用負担を支援する。（参加費の一部、教材費は実費負担）
- ・中学校施設開放優先利用（中学生を含む地域活動団体が活動できる場所を優先的に提供する仕組み）では、会場使用料を減免として取り扱う。

#### 地域クラブに係る経費

##### ■ランニングコストの分析

- ・会場使用料 8千円
- ・指導者謝金 465千円
- ・事務局人件費 33千円
- ・消耗品費 84千円
- ・通信費 13千円
- ・会議費 4千円

#### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

#### 収支バランス

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算を行った（検証結果の詳細は次のページ参照）

【収入】参加費 104,500円      【支出】活動費 607,258円

収入内訳 美術講座（水彩画 全4回）1,400円×10人、（木炭デッサン 全4回）1,200円×7人、  
 （鑑賞・制作 全2回）500円×7人

音楽（サクソ）講座（前期 全3回）1,300円×8人、（後期 全3回）1,300円×8人  
 ※台風による延期開催分の欠席者1人に100円返金

音楽（トランペット）講座（前期 全3回）1,300円×7人、（後期 全3回）1,300円×5人

音楽（クラリネット）講座（前期 全3回）1,300円×8人、（後期 全3回）1,300円×6人

音楽（パーカッション）講座（前期 全3回）1,300円×5人、（後期 全3回）1,300円×6人

音楽（フルート）講座（前期 全3回）1,300円×2人、（後期 全3回）1,300円×4人

音楽（マリンバ）100円×7人、音楽（箏曲）100円×2人、音楽（和太鼓）100円×11人

支出内訳 上記ランニングコストの分析に記載

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

○運営主体の収支構造を活動費と運営費にわけて考えると、生徒の出席確認や参加費の授受などを行う事務局の人件費、受講決定通知や講師依頼書などの通信運搬費は、生徒へ直接支援している経費ではないので、国費や市の自主財源等を活用することが望ましいと考えられる。一方、専門家への指導の対価として支払う諸謝金（指導料）、会場使用料、材料費は生徒の活動に直接かかわる支出にあたるため、受益者負担の考え方にに基づき、参加者に負担してもらうものとして、活動費と運営費をわけて負担割合について検証を行った。

○活動費及び運営費を負担する場合と、活動費のみを負担する場合とを受益者負担割合を比較してみたが、もともと総支出に占める活動費の割合が高いため、受益者負担割合に差はあまりみられなかった。

【支出】608千円

活動費 560千円

諸謝金	465千円
消耗品費	84千円
会場使用料	7千円
会議費	4千円

運営費 48千円

人件費	33千円
交通費	2千円
通信運搬費	13千円

【収入】105千円

参加費 105千円

受益者負担割合	17% (全体)
※活動費のみの場合は	19%
一人当たり負担額	約1000円 (1～4回分)

##### 今後の課題と対応方針

○本市の取組が目指す方向性は、子どもたちが主体的に選択して文化活動に取り組むことができるような環境を作ることである。究極的にはいつから活動を始めても公平な受益者負担となるように、1回ごとに参加費を負担することが望ましいが、実際の活動は、各回が前回の復習の上に成り立ち、合奏を通して音楽の楽しさを実感するなど、各回がすべて不可分な活

動になっている。これらを解決する方法として、半期ごとに参加意思確認を行い、受益者負担を求めることとした。結果、1年生の多くは後期から活動を始め、3年生は前期までという生徒が多かったことから、各家庭にとっても参加しやすい回数、負担額の検証を継続することが必要。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、中学校施設開放優先利用（中学生を含む地域活動団体が活動できる場所を優先的に提供する仕組み）の登録及び利用ルールを策定し、各団体の活動場所を確保するとともに、市が各中学校区に設置された公民館等で主催講座を開催し、個人での文化活動場所も確保するよう調整を行った。

##### 取組の成果

○市内全中学校長が集まる校長会で依頼し、理解を高めることで、運営主体と学校のつながりを深め、学校体育施設の利用、学校管理の楽器利用に対し、学校の協力を得ることができた。この結果、中学生を含む地域活動団体の学校施設開放優先利用や楽器持ち寄りにより参加する市主催事業の公民館利用を通して、保護者の負担軽減と活動場所の拡大につなげることができた。

##### ○中学生日曜教室（音楽・美術・公民館アウトリーチ）活動場所

美術講座（水彩画4回、木炭デッサン4回、鑑賞・制作2回）	安城市民ギャラリー
音楽講座（サクソ6回、クラリネット6回、フルート6回）	安城市民ギャラリー
音楽講座（トランペット6回、パーカッション6回）	昭林公民館
公民館アウトリーチ講座（マリンバ）	明祥公民館
公民館アウトリーチ講座（箏曲）	安祥公民館
公民館アウトリーチ講座（和太鼓）	北部公民館

##### 今後の課題と対応方針

○今後、休日部活動が月2回から月1回と段階的に廃止される中で、部活動で使用しない日の体育施設利用予約について、学校や教育委員会、各地域団体とが競合しないよう、事業趣旨の理解等を求めていくことが必要。

○音楽活動については、楽器運搬、保管の問題から体育施設ではなく、校舎内（音楽室）での活動を希望する声も多く寄せられているため、今後は、課題となっているセキュリティの問題などについて、学校、教育委員会と利用しやすい環境を整える方向性について協議し、進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組 生徒への周知及び申込方法

##### 取組事項

○生徒への周知・募集方法の効果的な在り方について検討し、生徒の目に最も留まる方法として、市内中学校生徒には、学校を通じて参加要項を紙で配布した。一方、私立中学校に通う生徒向けに広報誌でも周知を行い、保護者の眼にも留まるように考慮した。地域活動団体の活動内容

については情報量が多いため、タブレット配信を活用した。

○市主催講座の参加申込方法については、事務の省力化及び事務処理誤りを防ぐため、すべてあいち電子申請・届出システムを用いた。

##### 取組の成果

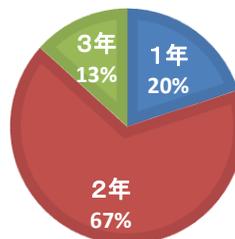
○上記の通り、効果的な周知方法及び申込方法を検討し、実施した結果、市内8校すべての生徒から申し込みがあり、参加に至った。

○全学年が申しやすいよう、参加申込時期を半期ごとに設けた。結果、受験を控えた3年生は前期に参加し、部活動で担当する楽器が夏頃に決まった1年生が後期に多く参加することができた。

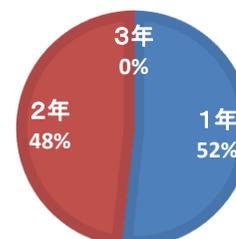
○市内全域の中学生が参加しやすいよう、音楽・美術分野の活動場所は市中心部に位置する市民ギャラリー及び昭林公民館とした。一方、鑑賞・体験を行う公民館アウトリーチではホールなどの設備が必要であるため、市内を北・中心・南とわけて3か所で実施した。結果、市内8校すべての生徒から申し込みがあり、参加に至った。

学年別参加割合 前期 学年別参加割合 後期 学校別参加割合 合計

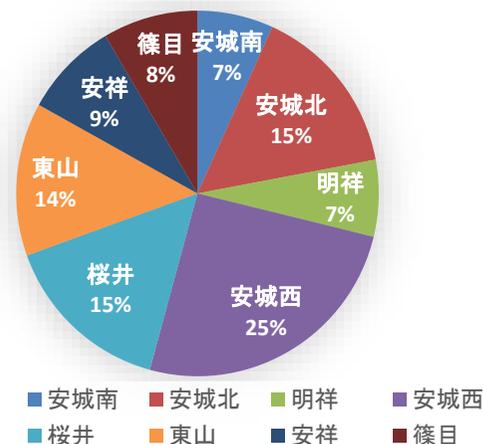
■1年 ■2年 ■3年



■1年 ■2年 ■3年



学校別参加割合 合計



出典：中学生日曜教室（音楽）申込状況より

○人数 前期 29人、後期30人

○学校別 安城南4人、安城北9人、明祥4人、安城西15人  
 桜井9人、東山8人、安祥5人、篠目5人  
 （市内8校中8校の生徒が参加）

#### 今後の課題と対応方針

○本市の目指す方向性「子どもたちが主体的に選択して文化活動に取り組む」ためには、生徒が活動しやすい環境を継続的につくるのが肝要であり、それには参加申込時期、場所、方法などの生徒のニーズにきめ細やかに対応していくことが必要である。一方、運営主体側にとっても持続可能な取組とするためには、それに対応できる運営スタッフ（人）、楽器など資材（物）、会場（場所）、資金が必要であるため、多方面への丁寧な説明及び理解を得て協力者を増やす取り組みが必要。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和4年度に庁内関係課による地域移行準備会を結成して以来、これまで関係者との連絡調整や関係団体との連携強化、指導者の質・量の確保、活動場所の確保、内容の充実など、様々な角度で協議を重ね、地域移行の在り方を検討して取り組みを進めてきた。もともと文化部活動は学校によって様々な分野にわかれており、生徒のニーズ調査においても活動に対する思いが生徒それぞれに異なっていたことから、本市では学校部活動をそのまま地域活動へと移行させるのではなく、地域の活動の中で生徒が主体的に活動し、楽しさ、喜びを感じながら学びあうことができる環境を整えていくことを目指し、取組を進めることとした。これまでも個人で取り組む文化芸術活動は、地域で開催されている趣味的教室や公民館講座などで中学生を対象に含む内容が用意されている分野もあったが、本事業では、休日部活動の段階的な廃止により生み出された新たな時間に新たなことにチャレンジしたい生徒向けに、文化芸術活動のきっかけづくりや、より深く学びたい生徒が、本格的な指導を受けながら、同年代の仲間と学び合えるような内容まで、個人の様々なニーズに対応できる環境づくりをすすめてきた。結果、様々なニーズに対応することはできたが、今後ますます加速する部活動地域移行への期待や、継続的に子どもたちの活動の受け皿を構築していくには、引き続き人的（指導者及び運営スタッフ）、物的（楽器や会場）、金銭的（人的・物的資産を賄うだけの原資）による協力が不可欠である。関係者及び受益者の理解を求めながら、子どもたちが文化芸術に触れ、活動することで喜びを感じられるよう、地域・民間展開などを通して、地域全体で文化芸術の振興を図っていかなければならない。

#### ●成果の評価

令和5年度10月の地域移行開始で試行実施をした中学生日曜教室について、今年度は音楽・美術・公民館アウトリーチで内容・回数を拡充して本格実施した。参加者アンケートでは高い満足度を得られた結果となったが、同じく昨年度から実施している地域文化芸術活動団体紹介については、スポーツに比べて、まだまだ紹介数が少なく、文化芸術分野で活動する地域団体自体が少ないことが要因としてあげられる。

#### ●今後に向けて

本年度の成果、参加者等関係者からの評価をふまえ、令和8年度からの休日部活動の完全廃止に向けて、関係機関及び団体と協議を重ねながら、本市の目指す姿を実現していく。また、スポーツも含めて地域活動団体が増えてきたことで、特にブラスバンドでは音や楽器置き場の問題から、活動できる時間・活動場所を確保することが課題などとなっていることから、関係者と協議し、更なる環境整備に努めていく。

## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果 【出典:令和6年度後期中学生日曜教室（音楽・美術・公民館アウトリーチ）受講者アンケートより】

中学生日曜教室（音楽）  
サクソ、トランペット、クラリネット、  
パーカッション、フルート

Q.参加され、内容はどうでした？

■よかった ■ふつう ■よくなかった



中学生日曜教室（公民館アウトリーチ）  
マリンバ、箏曲、和太鼓

Q.参加され、内容はどうでした？

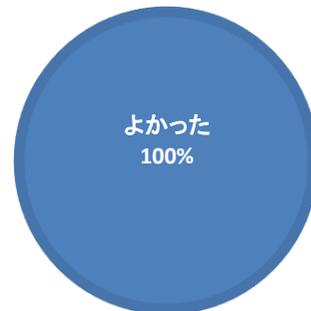
■よかった ■ふつう ■よくなかった



中学生美術講座  
（水彩絵具で静物画を描く）

Q.参加され、内容はどうでした？

■よかった ■ふつう ■よくなかった



#### ●参加者の声

##### 音楽（パーカッション）

とても参考になり、参加してよかったです。学校の部活動でも豆知識としてや今後の練習のしかたなど自慢したり教えたりできてもっと部活動が楽しくなりました。

##### 音楽（サクソ）

サクソパートでアンサンブルをしたことがなかったので楽しかった。

##### 音楽（トランペット）

音を出すコツ等を学ぶことができ演奏に自信がついた。

##### 公民館アウトリーチ（和太鼓）参加者

自分の興味のあることに詳しくなれたし、とても素敵なパフォーマンスが見れたから、参加してよかった。

##### 美術（水彩絵具で静物画を描く）

周りにいろいろな人がいたので、友達になり、楽しく描くことができました。友達といっしょに高めあえたのでよかったです。

##### 指導者及び講座コーディネーター

1年生（初心者）と2, 3年生（経験者）の技術差、学校ごとに取り組む曲目が異なる点において指導の難しさを感じた。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

参加者アンケートから、内容について大変満足度の高い結果が得られた。回数については、適当であると回答した生徒が多かったものの、もっと多い方がよいという意見もあった。また、参加者の中には「アンサンブルが楽しかった」という感想があった一方、指導者からは学年による技術差において指導が難しいとの意見もあった。今後は、会場、費用負担、内容についてもニーズに合わせた更なる検討が必要。

た」という感想があった一方、指導者からは学年による技術差において指導が難しいとの意見もあった。今後は、会場、費用負担、内容についてもニーズに合わせた更なる検討が必要。

市内中学生対象

### 令和6年度後期 中学生日曜教室(音楽・美術)

楽器奏者の先生から直接指導を受けられるチャンスです  
口の形、息の使い方など奏法のコツを学ぶことでレベルアップを目指しましょう

申込締切

①～⑤ 11月10日(日)  
⑥ 11月18日(月)

※①～⑤講座は演奏経験者(初級者または部活動パートで演奏している生徒)を対象としています

**①サクソフォーン講座【全3回】**  
12/1、12/22、1/12

時間 9:30～11:00  
場所 市民ギャラリー



**③クラリネット講座【全3回】**  
1/19、1/26、2/9

時間 9:30～11:00  
場所 市民ギャラリー



**⑤フルート講座【全3回】**  
12/8、12/15、2/2

時間 9:30～11:00  
場所 市民ギャラリー



**②トランペット講座【全3回】**  
12/1、12/22、1/12

時間 13:30～15:00  
場所 昭林公民館



**④パーカッション講座【全3回】**  
1/19、1/26、2/2

時間 13:30～15:00  
場所 昭林公民館



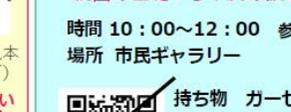
(※)パーカッション練習台見本(上部パッドのみも可)  
※練習台のご用意のない方は1回500円でレンタルすることもできます。

**⑥美術講座【全4回】**  
「木炭で静物画デッサン」  
12/1、12/8、12/15、12/22

デッサンの楽しさや造形する力を養います。  
構図の基礎から木炭の扱いなどを学びます。

時間 10:00～12:00 参加費 1,200円  
場所 市民ギャラリー

持ち物 ガーゼ (20×20cm程度)  
定員 15名



【①～⑤講座共通事項】

- ・持ち物 各楽器、譜面台、筆記用具、水分補給用飲み物 ※その他必要な持ち物は受講者決定通知と共にお知らせします。
- ・参加費 1,300円(全3回分受講料及び教材費含む)
- ・定員 10名

ご不明な点はお問い合わせください 【問い合わせ】安城市教育委員会 文化振興課芸術文化係(市民ギャラリー内) ☎ 77-6853 FAX 77-4491

#### 【生徒への参加啓発チラシ】

出典:令和6年度後期中学生日曜教室(音楽・美術) チラシより

市民ギャラリー

### マリンバ・箏・和太鼓

## LIVE パフォーマンス in 公民館

市内外で活躍する地元のアртиストが公民館で生演奏を披露！  
音楽初心者の方も気軽に遊びに来てください！

市内中学生対象

申込方法  
下記①～⑤または⑥講座用QRコードから必要事項を入力して送信

**マリンバ**

- 10月13日(日)
- 14:00～14:50
- 明祥プラザ(会場)
- 講師 手越 莉子氏

**箏**

- 10月20日(日)
- 14:00～15:00
- 安祥公民館(大会場)
- 講師 小山 要子氏 他数名(こやま会)

**和太鼓**

- 10月27日(日)
- 14:00～15:00
- 北部公民館(かきたホール)
- 講師 由良 英恵氏(HIDE 和太鼓 School 代表)

定員:各回30名  
参加費:各回100円(当日現金払い)

申込期限  
3場床とも開催日より  
5日前の火曜日

【問い合わせ】ご不明な点はお問い合わせください。  
安城市教育委員会 文化振興課芸術文化係(市民ギャラリー内) ☎ 77-6853 FAX 77-4491

#### 【生徒への参加啓発チラシ】

出典:令和6年度中學生日曜教室(公民館アウトリーチ) チラシより

### 参考資料（活動写真）



中学生美術講座（水彩絵具で静物画を描く）  
【水張りの様子】



中学生美術講座（木炭デッサン）  
【デッサンの様子】



中学生日曜教室（音楽）  
【トランペット合奏の様子】



中学生日曜教室（公民館アウトリーチ）  
【掛け声とともに太鼓打ちを体験】

## 2.実証内容と成果

### 地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

協議会設置、  
検討開始

令和5年

関係者、学校  
現場との調整

生徒、保護者へ  
の説明

地域クラブ活動  
の開始

令和6年

地域クラブ活動  
の拡大

令和7年

地域クラブ活動  
の拡大・継続

#### ●ステークホルダー (R4～)

学校、地域活動団体、  
市長部局、市教委

#### ●経過

令和4年8月、庁内  
関係課による検討委  
員会（地域移行準  
備会）を設置。

#### ●実施内容

地域移行に向けたス  
ケジュール、意義・目  
的を共有し、役割分  
担、組織を決定。

#### ●経過

休日部活動の段階的縮小に向けたスケジュールについて、教職員、保護者へ周知。  
（令和5年10月から月2日以内、令和7年10月から月1日以内、いずれも4時間  
程度、令和8年4月から廃止予定）

#### ●実施内容

休日部活動の段階的縮小に伴い、校長や中学・高校文化部活動顧問教諭にヒア  
リングし、子どもたちの活動の受け皿となる地域活動の在り方を検討し、下記のとおり環  
境づくりをすすめた。

- ①生徒に休日の活動に対するニーズ調査を行い、受け皿となる環境づくりの基礎資  
料として活動準備をすすめた。
- ②既存地域活動団体に中学生の参加受入れ要請を行い、協力を得られた団体活  
動を生徒に周知した。
- ③教職員に、地域活動指導者登録への協力依頼を行い、兼職兼業に関する周知  
を行った。
- ④中学校入学説明会（在校生には通知文）にて保護者説明実施。
- ⑤中学生の受入れに協力するなど条件を満たす団体に対して、中学校施設開放優  
先利用団体登録制度を実施した。

#### ●経過

令和7年10月からの休日部活動  
月1回開催に向けて、大会参加の  
在り方について協議会で調整し、各  
地域団体・保護者・生徒へ周知。  
それに伴い、子どもたちの地域文化  
活動の受け皿の更なる拡充に向け  
て、以下の活動を行った。

#### ●実施内容

- ・R5実施内容②～⑤の継続
- ・新たな活動団体設立に向けた相  
談・支援
- ・中学生の参加受入れ協力団体  
の情報更新及び生徒への周知
- ・活動メニューの内容・回数の拡充

# 3. 今後の方向性



地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	目指す姿
	休日部活動地域移行開始(月4→2回へ)		休日部活動地域移行開始(月2→1回)	休日部活動の地域移行完了	
市	教師・生徒のニーズ把握	新たな文化芸術活動の場を提供(中学生日曜教室、公民館講座など中学生を対象に含む活動実施・情報紹介)			
		中学生の参加受入れ可能な地域文化芸術活動団体の掘り起こし、協力依頼 → 紹介・調整			
	施設利用ルール策定及び改訂	学校施設の活動場所を確保(優先利用団体登録申請)			
学校	地域移行検討協議会の設置及び会議(年3回程度)、推進計画・方針等について協議				
	教職員の兼職兼業の希望把握 → 教職員指導者人材バンク登録・運用				
	生徒・保護者への連絡・調整				
地域活動団体	安城市中学校部活動指導ガイドラインの改定、大会開始及び運営方法の検討・調整				
	学校施設の活動場所を確保(会場利用申請)				
	活動団体内への中学生参加受入れ及び指導				
	(市または地域活動団体等の依頼に応じて) 指導者を派遣				

○ 少子化のなかでも持続的に文化芸術活動ができる環境を整備し、地域全体の文化芸術振興のチャンスにする

○ 生徒の選択肢を広げたい

・ 自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じられるように

・ 生徒が興味のあるものに、いくつでもチャレンジできるように

・ 生徒が始めたいと思った時に新たな場所で始められるように

○ 学校の働き方改革を推進